

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

# 中国四川省大地震緊急援助事業報告

募金件数: 1,508件 募金総額: 25,041,722円

**皆さまのご支援に、心より感謝いたします。**

地震で廃墟となった村

## 事業地域の状況

5月12日、中国四川省を襲ったマグニチュード7.8の大地震は、死者約8万人、負傷者37万人以上、行方不明者約18万人と、想像を絶する被害をもたらしました。住居、学校、病院など多くの建物が、倒壊や破損の被害を受けました。そのため多くの人々が屋外での生活を余儀なくされ、また校舎が危険な状態のため授業ができない学校、医薬品や設備の不足で運営できない病院なども多く、その被害は5カ月経った今でも、人々および地域社会に大きな影響をもたらしています。

## 支援活動内容

ワールド・ビジョンでは、地震発生直後から被災者に食糧、台所用品や毛布などを含む生活用品など、緊急支援物資の配布を行いました。加えて、住居や学校などの設備再建など、今後、人々がより早く安定した生活に戻れるよう、復興のための支援を行いました。

さらにその後は食糧に加え、住居、学校、病院などの仮設のための防水シート、テントなどを配布しました。余震におびえながら屋外での生活を余儀なくされていた多くの人々に住居を提供し、校舎が危険で授業を受けられなくなった子どもたちには、学校スペースにプレハブ校舎を建設しました。

病院が被害を受けた地域では診療所を設置し、さらにワクチンなどの医薬品が適切に保存されるよう、発電機を提供しました。

被災した子どもたちへの支援も、「チャイルド・フレンドリー・スペース」を通して行っています。今回のような大きな災害が起こった地域では、子どもたちは精神的に大きなショックを受けるだけでなく、大人たちが日々の生活や復興作業に追われてしまうことから、子どもたちは寂しさを覚えたり、無力感、脱力感などを抱いてしまう場合もあります。子どもたちがショックや寂しさを乗り越えられるように、ワールド・ビジョンではチャイルド・フレンドリー・スペースにおいて、彼らが遊戯や簡単な学習を通して子どもらしさを取り戻すことのできるプログラムを実施しています。

緊急支援物資の配布後は、より耐震性の高い住居を建設するための支援、学校や診療所の建設、黒板、机、椅子、消火器具など学校内の設備の準備、保健・水衛生に関する教育、防災教育など、より長期的な支援へと移行しつつあります。ワールド・ビジョンでは被災者の人々が被災前の生活に1日でも早く戻れるよう、支援を続けていきます。



支援で建設されたプレハブ校舎で学ぶ子どもたち

### 今後～ワールド・ビジョン・ジャパNSTAFFの声

（緊急人道支援課 坂スタッフ）

北京オリンピックの影で、今回の地震で大きな被害を受けた四川の人々は辛い夏を過ごしました。住居の倒壊をまぬがれた人々も、予期できない余震で倒壊するとも限らない自宅から避難し、近くに設営したテントで暑い夜を過ごすという有様でした。政府も力を尽くしているとはいえ、山がちな被災地に支援を届けることは想像以上に大変です。

現在は、生活用品などの配布から住居や学校の建設など、支援の方向性は本格的な復興に向けた活動に移っていますが、震災前の状態に戻るにはまだまだ多くの時間がかかることが予想されています。沿岸部の華やかな発展とは裏腹に、今回の被災地域のような内陸農村部はまだ貧しさが目に見える地域です。震災をこうむった弱い立場に立たされている人たちの復興のために、ワールド・ビジョンは引き続き支援をしていきます。



新しい上掛け布団を手にする少女たち



ワールド・ビジョンから食糧を受け取る被災者

### 皆さまからのご寄付および世界のワールド・ビジョンと協力して行った支援内容

#### 仮設住居のための資材など

- 防水シート---14,000
- 住居用テント---1,440
- 学校用テント---213
- プレハブ仮校舎---101

#### 食糧以外の支援物資

- 上掛け布団---10,000
- ファミリーキット（調理器具など）---3,395

#### 子どもたちへの心理的ケア

- チャイルド・フレンドリー・キット---2,000
- チャイルド・フレンドリー・スペース設置---10

#### 医療支援とサポート

- 診療所用テント---100
- 発電機---2
- 公共シャワールームの設置---20

#### 教育環境改善のための支援

- 耐震性のある校舎の建設---50
- 扇風機---500
- 消火器具---450
- 机、椅子のセット---7,540
- 黒板---231

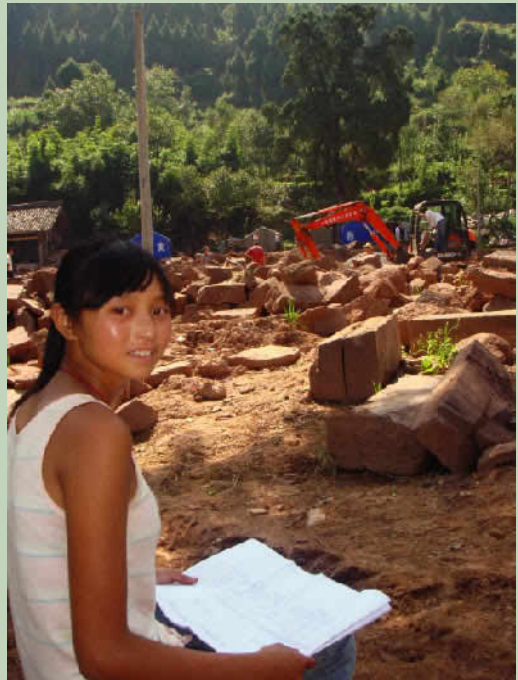
#### 住居再建支援

- 住居再建のための補助金---6,300

## 支援現場から

リーユアンさん(19歳)は、お母さんを病気で亡くして1カ月も経たないうちに地震に遭い、家を始めほとんどすべての持ち物を失いました。しかし、12歳の妹ワンユアンさん、病気がちなお父さん、年老いたおじいさん、おばあさんを気丈に支えています。

リーユアンさんの住む町でもワールド・ビジョン・ジャパンは支援を続けています。彼女は「支援をしてくださる方にとても感謝しています。この不幸に直面しているのは私だけではありません。夢は家を再建し、妹が教育を受けられるように、そして家族を支えるためにまた働くことです」と決意と願いを語ってくれました。現在、ワールド・ビジョンの支援で、彼女の家の再建が進められています。彼女は新しい家が建てられることを大きな心の支えとして、今の辛い生活を必死に乗り越えようとしています。



支援で再建される家の図面を見るリーユアンさん

## チャイルド・フレンドリー・スペースで遊ぶ子どもたち



※当事業の受付は終了しました。

●お問い合わせは・・・ 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
電話:03-3367-7621 (支援者サービス課直通) FAX:03-3367-7652  
e-mail: news@worldvision.or.jp